

# 地域と連携した森林・林業再生、 森林保全管理の取組

## 東北森林管理局

### 国有林野事業の取組

霧の白神山地



今年8月から、国有林、県、市町村、森林組合などの職員を対象として准フォレスター研修

**地方自治体、大学、研究機関と連携した人材育成**

林業再生の取組を紹介します。

今年7月に策定された森林・林業基本計画では、国有林は、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、国有林の組織・技術力、資源を活用して、林業技術の開発普及、人材育成をはじめとした民有林への指導など我が国の森林・林業の再生に貢献することが位置付けられています。

（一）では、東北森林管理局が地域とともに進めている森林・



や林業専用道技術者研修を開始しました。これらの研修では、岩手大学農学部岡田秀二教授（おかだしゅうじ）を講師の1人に招き、フォレスターに求められる役割や技術等に関する講義や国有林内での現地実習等を行いました。東北局は、この研修を契機に、岩手県、



森林総合研究所東北支所、岩手大学とそれぞれの資源や機能を活用して人材育成に連携・協力する旨を定めた「森林・林業再生プランの実現に向けた人材育成等に関する協定」を締結しました。

**民・国連携した効率的な  
搬出間伐等の推進**

昨年度には、青森市等の民有林と国有林が近接した区域で森林組合等と連携して、まとまった間伐施業地を確保するとともに、路網や土場を共同利用するなどして、効率性を追求しました。今年度はその実施状況を整理・分析し、「儲かる間伐」に向けた取組を拡大するための方策を検討し、他地域への普及を推進します。



流域管理担当者会議(秋田市)

林共同施業団地の設定を推進するため、東北局の「流域管理担当者会議」に、森林農地整備センター東北北海道整備局の職員にも参加を要請し、現在の連携状況や今後の推進方策について意見交換を行いました。

**地域と一体となった  
世界遺産の保全管理**

東北局は、環境省東北地方環境事務所、青森県、秋田県等の関係行政機関と地域連絡会議を設置して、連絡調整を緊密にとりながら、世界自然遺産・白神山地の保全管理を進めています。具体的な活動としては、ボランティア巡視員や地元消防署、漁業協同組合、駐在所等との定期的な合同パトロールや巡視員会議を実施し、樹木の損傷や焚き火などの違法行為やマナー違反の予防に地域と一体となつて取り組んでいます。

来年7月の世界遺産委員会への定期報告を控え、管理運営に関する科学的な助言を求め、体制を整備し、順応的な保全管理を一層推進するため、昨年6

月に学識経験者からなる「白神山地世界遺産地域科学委員会」を設置。

現在、同委員会のアドバイスの下で総合的なモニタリング計画の策定に取り組み始めたところです。また、白神山地周辺では、日本山岳会、日本ユネスコ協会、白神山地を守る会などのNPO団体とブナ等を植える自然再生活動も行っています。

今年9月には、後世に残すべき白神山地の価値を体感、議論する国際森林年企画のイベントも関係行政機関や地元自治体と連携して開催。青森県弘前市で開催した「白神山地を考える旬間シンポジウム」では、参加者



上手に植付けを完了しました

からブナの害虫の状況やブナ林を守るため笹を刈り払うことは是非について質問や意見が出されました。また、青森県西目屋村と秋田県藤里町で行った「森を歩く集い」では、参加者から「本ではわからない森の知識を得ることができた」などの感想や感謝の手紙を頂きました。

東北森林管理局では、今後とも地域と連携し様々な面で地域の役に立つ国有林を目指していきます。



自然再生活動(植付けの様子)